

みんなが
つながる

地域学校協働活動便り NO.3

R4. 10. 26

青森県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ

地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー 工藤 知久子
Tel 017-734-9890 E-mail : chikuko_kudo@mx.pref.aomori.jp

令和4年度東北地区社会教育研究大会における「学校・家庭・地域の連携・協働」

10月13・14日、福島県いわき市文化センターにて、令和4年度東北地区社会教育研究大会が開催され、参加してきました。本研究大会は、東北各地から社会教育関係者が集い、日頃の社会教育活動の研究成果を学びあうことにより、今日的課題に即応した地域づくり・人づくり・つながりづくりの在り方を探るとともに、社会教育の一層の振興・発展を目指すことを目的としています。大会2日目、「学校・家庭・地域の連携・協働」のテーマのもとで行われた分科会から、一部ご紹介します。

岩手県八幡平市教育委員会社会教育指導員兼CSアドバイザーの藤嶋茂美さんは、「郷土を愛する子どもに」と題し、学校と地域、コミュニティセンター（以下、コミセン）の連携・協働について発表されました。八幡平市には10小学校4中学校があり、令和2年度までに全ての学校で学校運営協議会が設置されました。特徴としては、①コミセン職員が学校運営協議会委員とコーディネーターを兼任していること、②学校運営協議会で共有された計画のもと、コミセン職員がボランティア募集や活動の企画・運営等、地域学校協働活動の中核を担っていること、の2点があげられます。これにより、学校と地域との連携が強まり、ボランティアと児童が名前呼び合うまでに関係が深まっているとのことでした。

岩手県内中学校の新入生を対象とした調査では、「自分の住む地域には良いところがあると思いますか？」の質問に、八幡平市では、とても思う87%（県68%）、どちらかといえば思う11%（県26%）と、県全体に比して高い傾向にあります。学校と地域との連携を強めるコミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動の実施が生徒の郷土愛の醸成と地域の活性化につながり、学校から地域へ、また地域から学校への「双方向の恵風」になっている、と発表されました。

NEW

令和4年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査の調査結果が9月14日、文部科学省から発表されました。青森県内のコミュニティ・スクール導入率、地域学校協働本部整備率、地域学校協働活動推進員等の配置状況を過去のデータと比較すると、増加傾向にあります。今後も地域学校協働活動の体制づくりにご協力をお願いします。

青森県	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
コミュニティ・スクール導入率（小・中学校）	18.0%	28.3%	33.4%	41.1%
地域学校協働本部整備率（小・中学校）	40.3%	42.4%	49.3%	55.2%
地域学校協働活動推進員を委嘱し配置している自治体の割合	7.3%	19.5%	22.0%	31.7%
地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターを問わず配置している自治体の割合	75.6%	70.7%	73.2%	70.7%



先日、県内の小中学校数校を訪問した際、校長先生や教頭先生と地域学校協働活動についてお話をさせていただきました。どの学校でも地域学校協働本部が整備されていませんでしたが、「子どもたちのためなら」と、PTAや町会、地域団体が、例年様々な教育活動に協力してくださっているそうです。まさに、それこそが「地域学校協働活動」です。たとえ関わる大人が変わっても安心して活動が続けられる体制づくりは、学校と地域、これからの社会を担う子どもたち、それぞれにとって明るい未来につながっていく仕組みだと思っています。